



大分県立芸術文化短期大学 国際文化学科 通信

GLOBAL GAZETTE

March, 2013

2年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

卒業研究年間活動報告:アメリカ研究



私は、アメリカ研究ゼミに所属していました。この1年で大きな行事が2つありました。1つは、8月におこなった香港の学生との、大飼での合宿です。香港の学生は日本語がとてもうまくて驚いた事を覚えています。

とても短い時間でしたが、みんなと楽しむことができ、良い思い出になりました。2つめは、大分国際車いすマラソンのボランティア活動です。初めての事で何をしようかわからず、迷惑をかけたと思いますが、このボランティア活動に参加できて良かったです。また、沢山の選手たちとの交流を楽しむ事ができました。地元大分で、このような国際大会があることを誇りに思います。アメリカ研究ゼミは、基本的には英語で授業を受け、卒業論文を英語で書かなければいけません。

みんなとても苦労しましたが、きちんと仕上げる事が出来ました。本当に大変でしたが、その分やりがいがありました。ゼミの先生やメンバーのおかげで、1年間楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。 児玉愛理



卒業研究年間活動報告:国際関係研究



私たちは「国際関係論/オセアニア地域の研究」のテーマのもと、1年間研究を進めてきました。その中で、それぞれ「廃棄物処理問題」、「異文化理解」、「戦争裁判」、「竹島領土問題」、「核軍縮」に関する研究を行いました。

ワークショップを芸短と自身の出身高校で行い、その結果を比較して研究結果をまとめる方法、また、自身の研究テーマに関する本や論文等を読み、研究を進めまとめる方法でそれぞれ自分なりの卒業論文を完成させることができました。ゼミでの合宿や研修旅行は行うことができませんでしたが、7月の七夕祭で行った焼き鳥の出店はとても印象的で、思い出に残っています。最後に2月に行った卒業論文発表では、全員が納得のいく発表ができたのではと思っています。1年間このゼミで活動

してきたことは大変貴重な経験になりました。ご指導くださった玉井先生に感謝したいと思います。 上野みちる



中国人留学生 日本の近代文学の研究に頑張った!



国際文化学科2年、野坂ゼミ所属の呉静凡です。2年生になってから主に日本の近代文学について勉強しています。野坂ゼミの研究テーマは、文学と高校国語教科書との関わりで、前期に重松清「タオル」、夏目漱石「こころ」、O・ヘンリー「賢者の贈り物」、内海隆一郎「相棒」などの作品を読み、教科書に掲載されている設問なども考察の範囲に入れながらゼミのメンバーで討論しました。私は夏休み前に、日本と縁の深い中国人作家・魯迅の「藤野先生」を卒業研究のテーマと決め、資料を集めて読んでいました。後期になり、ゼミ内で各自の研究の進み具合を発表した上で、先生やゼミのメンバーの意見を参考にしながら卒業論文を書きました。卒業研究に関して、まだまだ不十分な点がたくさんありますが、これから四年制大学に編入し、今回の卒業研究を基に、頑張っていきたいと思っています。

呉静凡

フランス文化研究ゼミで卒業旅行に行ってきました!

1月31日から4泊5日、フランス文化研究ゼミで大阪と神戸に旅行に行きました。船中で行きと帰りは1泊し、大阪に2日間泊まりました。名物のユニバーサルスタジオジャパンには先生も同行していただき、キャラクターと沢山の写真を撮ることができました。お好み焼や串カツなどの



名物料理を食べ、大阪の街を観光しました。神戸では中華街に行き、中華料理を食べました。このメンバーでとてもいい思い出ができてよかったです。 宮崎史帆





染矢先生からのメッセージ



時の経つのは早いもので、芸短での四半世紀ほどがあつという間に過ぎてしまいました。この間での大きな変化は、芸術系の2学科に、人文系の2学科が加わったことです。全学をあげての新入生歓迎遠足で、バスで糸が浜に行ったり、扇山で蕨をとったり、志高湖の湖畔で球技をしたことなどが懐かしく思い出されます。英語好きの学生とはオーストラリアと一緒に行きまし、ゼミの学生とはハウステンボスの英語村や湯布院での散策、美術館巡りなどをしました。英語の授業では、ときどき英語と日本語の両方でジョークを言いましたが、気分転換になりましたか？退職後は、農業を中心に、林業や漁業とも触れ合いたいと思っています。ecologyに興味のある人は遊びに来て下さい。自然を相手に額に汗して、太陽を浴びながらバーベキューでもしましょう。



2年間ゼミやいろいろな授業でお世話になりました。特に英語学、とても勉強になりました。農業、応援しているので頑張ってくださいね。 由木舞夏



大学時代という多感な時期に様々な事に挑戦するように、という先生の言葉が心に残っています！これから、農業の開拓頑張ってください。浦田由美子

吉良先生からのメッセージ

大分の大学に行ってみないか？という誘いを受けて、大分出身の私は、郷里に帰れる！という思いで赴任してから、21年が経ちました。人文系2学科の新設、という事で、すべて新任の先生ばかり、熱気に満ちていた当時は昨日の事のように思い出されます。ほとんどが女子ばかりの学生に、圧倒され、戸惑いを覚えました。やがてそれにも慣れ、楽しく授業させていただきました。楽しかった事や困惑した事、怒った事、京都や奈良の旅行先で心配させられた事等、走馬灯のように今私の脳裏を駆け巡っています。歴史という学問をしていると、時代の趨勢や変化をみるクセがついてきますが、私が今生きてきた戦後日本の成長の時代が過ぎ去り、地球規模で大きな時代の変化、時代のうねりが進んでいます。しかしどんな社会に行き着くのか？先は見えていません。そんな時こそ、若い皆さんの力が必要とされています。是非、大いなる希望と熱意を持って未来の時代に向かって進んでください。今後はそんな皆さんの姿を遠くから眺めたいと思っています。



一年半、同じゼミメンバーでとても楽しい時をすごせました。たくさん迷惑をかけましたが、私にとって充実できたと思います。今年で先生が退職なさると聞いて寂しいですが、最後のゼミの一員になれて幸せです。本当にありがとうございました！ 佐竹結衣



サークル紹介:アルティメット

「アルティメット」というスポーツを知っていますか？アメリカ発祥のスポーツで、フリスビーを使って点を競い合うものです。チーム7人全員でフリスビーを回し、エンドゾーンと呼ばれる所でキャッチすると点が入ります。私たちのサークルではそのアルティメットを、社会人や県内の他大学の方たち、芸短の卒業生の方たちと一緒にしています。ほぼ全員が大学から始めているため、未経験者でも楽しめます。 渡邊美希



サークル紹介:茶道

茶道サークルでは月曜日に先生によるお稽古、金曜日には自主練習を行っています。毎回参加するのは大変ですが、おいしいお抹茶とお菓子、楽しい部員たちに囲まれて頑張っています。今年度は学校茶道に参加したり、積極的にお茶会を催したり、意欲的な活動を行いました。中でも最も印象的だった活動は、別府にある「潮聴閣」で、私たち茶道サークルと美術科陶芸専攻によるコラボレーション企画「Tea&Co」というお茶会を開いたことです。このように大きな場所を借りてのお茶会は体験したことがなかったので、たいへんいい勉強になりました。 山本愛



4月から国際文化学科は 国際総合学科に変わります!!

平成24年4月に創立20周年を迎えた国際文化学科は、さらなる教育内容の拡充・発展をめざし、**国際総合学科**へとリニューアルします。**現代教養**で、一般常識や基盤キャリア教育を通じて基礎力を身につけた学生は、各自の関心にしたい3つのコースのいずれかを選ぶこととなります。**国際コミュニケーションコース**では、国際化・グローバル化に対応するための国際的視野とコミュニケーション能力を養成します。**観光マネジメントコース**では、観光業を中心に地域社会で活躍し、「観光立国・日本」に貢献できる人材を育成します。**現代キャリアコース**では、企業が求める企画力や実践的スキルの養成を柱とします。また、地域と一体となった活動や、海外での実習プログラムも充実させます。